

自利き人材育成

目利き人材育成プログラムとは

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)では、2002 年度から大学等の研究成果の実用化を促進する人材の育成・確保のため、大学・TLO・公的研究機関・地方自治体等で産学官連携・技術移転業務に携わる人材(目利き人材)の専門能力の向上、目利き人材のネットワーク構築等を目的とした研修を実施してきました。これまで延べ約12,000 名を超える方々にご参加いただいています。今年度も大学等で研究開発プロジェクトの推進を行うコーディネータや研究者、URA、大学職員等の方を対象とした研修を実施します。

コースの概要

本コーズでは、産学官連携に従事する方を対象に、コーディネータとして技術シーズの価値を高め、事業化に至るまでに必要なプロデュース力について学びます。具体的なケース事例を用いて事業化のプロセスに沿って全体を俯瞰しながら、様々な分析手法を用いた多面的な検討を通じ、受講者自身の今後の技術移転活動へ役立てることをねらいとします。

参加費無料 交通費·宿泊費実費

2022年 7月27日歌·28日帝/10月5日歌·6日帝/12月7日歌·8日帝





コース概要・日程/募集人数30名

※第1回〜第6回の全課程を受講された方には、修了証を授与いたします。 ※社会情勢を鑑み、オンライン開催に変更となる場合がございます。

	概 要	日 程
第 1 回	産学官連携の全体俯瞰と事業化へのロードマッピング 技術移転活動の全体像を俯瞰するとともに、コーディネータに求められる視点について学ぶ。 また、研究成果を事業化するための課題抽出やロードマッピングのプロセスについて理解を深める。	7 月 27 ⊟⊛ 10:00−17:00
第 2 回	研究成果の選別・評価 事業化展開を進めるために必要とされる技術面、人物面からのリスクを把握する。研究成果の選別・評価の実践的手法である「トリアージ法」について学び、具体的なケース事例を用いて研究成果の取り扱い方針をグループで検討する。	7 月 28 ⊟⊛ 9:30−16:30
第 3 回	知財戦略の検討 技術移転における知財戦略の意義と留意すべきポイントを学ぶ。出口戦略の検討で重要となる特許調査や収集 すべき情報の整理などに取り組み、パテントマップの作成・分析に対するポイントを理解する。	10月5日⊛ 10:00−17:00
第 4 回	研究成果の付加価値の創出 研究成果に係るニーズの捉え方や付加価値の創出について学ぶ。 技術マーケティングの実践手法の1つであるS-N変換を用いて、新たな価値や市場創出の可能性を検討する。	10月6日⊛ 9:30-16:30
第 5 回	事業化シナリオの策定 ① 座学講義やグループ討議を通じて、事業化シナリオの検討ポイントについて理解を深める。 また、第1回~第4回で検討したケース事例の競合する製品やサービス、ビジネススキームなどを整理する。	12月7日⊛ 10:00-17:00
第 6 回	事業化シナリオの策定 ② 第5回の検討を踏まえて、事業化に向けた課題やリスク等の整理と、今後取り組むべき技術開発や知財戦略等を考え、最終的に研究者や関係者に提案する事業化シナリオとして取りまとめる。	12月8日⊛ 9:30-16:30

会場

国立研究開発法人 科学技術振興機構

東京本部 別館 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

参加費

無料 但し、交通費、宿泊費等については各自でご負担願います。

参加対象

大学等・企業において産学官連携に関わり、研究推進を行う研究者や コーディネート活動に従事している方、または研究支援あるいは 事業化支援を行っている方

主な講師(五十音順)

各務 茂夫 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)

久保 浩三 (独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長)

大和 建太(KAICO株式会社 代表取締役)

申込方法

下記URLにお進みいただき、申込受付フォームよりお申し込みください。

https://form.jst.go.jp/enquetes/mekiki_value_2022

※参加希望者が募集定員を上回った場合には、所属機関、地域等に偏りのないよう調整させていただきますので、あらかじめご承知おきください。 ※申込先着順ではありません。受講の可否は、メールでお知らせいたします。

※トピックスコース(リスクマネジメント・知財戦略)以外のコースを同一年度で重複して受講することはできません。

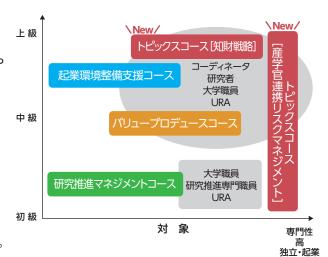
※トピックスコース (リスクマネジメント・知財戦略) は6月中旬頃に募集を開始する予定です。詳細は、目利き研修HPにてお知らせいたします。 https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/koubo/index.html

申込受付期間

5月23日 @ ~6月20日 @ 17時

コースの特徴

各コースの対象者とレベルの位置付け





申込はこちら

お問合せ・お申込み先

運営事務局

公益財団法人 全日本科学技術協会(JAREC) バリュープロデュースコース 担当:大門・高須 TEL:03-3831-5911 E-mail:value22@jarec.or.jp

主 催

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 科学技術イノベーション人材育成部 https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/index.html